

(別紙様式3)

令和5年度あいちラーニング推進事業研究報告書【重点校】

学校番号 029
学校名 愛知県立 春日井東 高等学校
校長氏名 清水 貴子

研究責任者職・氏名	教諭・真野 貴幸	
研究テーマ	生徒が「主体的・対話的で深い学び」をするための授業改善～少人数教育を生かしたICT活用～	
本年度の研究目標	(1) 本校の少人数教育を生かす授業を目指し、生徒が主体的に授業に参加し、対話的な深い学びができる授業を実施する。 (2) 生徒同士の意見の共有や学び合いにICT機器を効果的に活用するための実践を重ね、教科間で情報交換、研究協議を行い、PDCAサイクルにつなげていく。 (3) 研究授業をきっかけにICT機器を活用する教員が増やし、多くの教員が普段の授業でも活用していく雰囲気を醸成する。	
研究の実施内容		
実施月日	内 容	備 考 (対象生徒等)
令和5年 6月 7日	あいちラーニング推進委員会①(研究授業の日程について検討)	1年1組数学I 現代の国語 2年1組化学 2年3組世界史探究 2年4組ECⅡ
令和5年 6月 8日	高等学校教育課学校訪問(英語、理科で研究授業実施)	
令和5年 6月28日	主管校主催 第1回連絡協議会	
令和5年 7月28日	県への計画の報告	
令和5年 8月16日	情報化推進者によるロイロノート校内研修	
令和5年 9月 6日	あいちラーニング推進委員会②(研究授業者の決定)	
令和5年11月 7日	校内研究授業・主管校助言者による助言・研究協議	
令和5年11月9、10日	教科会での研究協議	
令和5年12月中旬	あいちラーニング推進委員会③(各教科の研究協議まとめ)	
令和6年 1月 5日	主管校主催 第2回連絡協議会	
研究成果の評価及び普及・還元に関する実績		
<ul style="list-style-type: none">・8月の出校日には情報化推進者によるロイロノートの活用方法について校内研修を実施し、多くの教員が参加した。11月に研究授業を行った教員が研修で学んだ内容を生かしていた。・11月に実施した校内研究授業では、生徒同士の意見の共有や学び合いにICT機器を活用した授業を行うことができ、複数の教員が見学をし、参考にしていく。また、主管校から招いた助言者に研究授業を見ていただき、研究協議では今後の授業改善につながる助言を受けることができた。・重点校になったことで今年度は研究授業を行った教員以外にもロイロノートなどICT機器を活用した対話的な授業を取り入れた教員が増え、校内で来年度に向けて授業研究をしていく雰囲気が高まってきていると感じる。		

※ 本研究報告書は、令和6年3月12日までに当該地区の主管校に提出する。

※ 名古屋地区においては、旭陵高校、緑丘高校、愛知総合工科高校は昭和高校へ、守山高校、愛知商業高校、南陽高校、名古屋工科高校は天白高校へ提出する。